北海道における地域日本語教育の推進に関する基本的な方針（原案）

みなさんの意見を聞かせてください！

令和６年（2024年）６月18日（火）～ ７月17日（水）

「北海道における地域日本語教育の推進に関する基本的な方針」ってなに？

北海道には、たくさんの外国人のみなさんが働き、住んでいます。

わたしたちは、北海道に住んでいる外国人のみなさんが、日本語の勉強ができるようにしたいと考えています。

これは、北海道に住んでいる外国人のみなさんが、日本語の勉強ができるようになるためには、どうしたら良いか、北海道の考え方を書いたものです。

北海道の「めざす姿」は？

- 日本語を勉強したいと思ってる外国人のみなさんが、住んでいるまちで、日本語を勉強することができるように取り組みます。

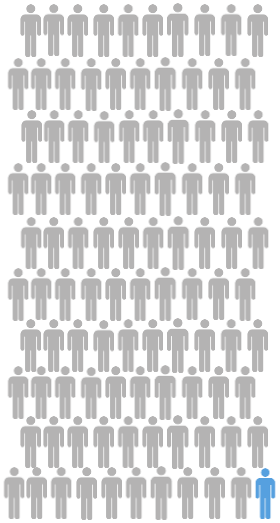
- 外国人のみなさんが日本語を使えるようになることで、日本人の人たちとも、お互いに理解し、助け合い、そして、元気なまちづくりをめざします。

この方針の期間は？

5年間（令和6年～11年）です。

必要な時に見直します。

北海道に外国人のみなさんはどのくらい住んでいますか？



56,000人くらいです。

北海道の人が100人いたら、1人は外国の人です。

外国人のみなさんはどこの市町村に住んでいますか？

179市町村ぜんぶに
まちの大切な仲間として
外国の人が住んでいます。

外国人のみなさんは、どこで日本語を勉強できるの？

まちの日本語教室です

北海道には、25の市町村に、42カ所の日本語教室があります。
たくさんのボランティアの人たちが、外国人のみなさんに日本語を教えています。
でも、まだ、日本語教室がない市町村がたくさんあります。

そのため、日本語を勉強したくてもできない外国人のみなさんがたくさんいます。

どうして、日本語が必要なの？

仕事

・間違いが少なくなります。
・仕事が効率的に進みます。
・危険な作業のとき、
事故を防ぎます。

生活

・病院に行ったとき、体の具合を
正しく伝えることができます。
・ゴミの出し方がわからないと、
近くの人が困ります。

地域

・外国人のみなさんが日本語を
使えると、日本人の人たちとも、
理解し、助け合う関係をつくること
ができます。
・特に、大きな災害が起きたときは、
お互いに助け合うことが大切です。

外国人の皆さんが、日本語を使うことができると、どうなるの？

みんなにとって安心、安全で住みやすい、元気のあるまちになります

お互いに理解し、助け合うことができるようになります！

日本語教育の取組はどんな人たちがしているの？

北海道や市町村、国際交流や日本語教育に関わる、色々な人たちが一緒になってすすめています

役割を決めて、みんなで協力して外国人のみなさんが日本語を勉強できるようにします。

どんな日本語の勉強ができるようになるの？

わたしは、仕事の役に立つ勉強がしたいです。

わたしは、日本の人とおしゃべりしながら、仲良くなりたいです。

外国人のみなさんの、自分のしたい勉強ができるように、取組をすすめます。

■ 仕事に役立つ日本語を覚えて北海道に長く住みたい

・生活するためのほとんどのことができる日本語を覚えて、日本語の試験も受けることができる学習機会の提供をめざします。

■ 日本の人とおしゃべりしながら仲良くなりたい

・日本語での会話を楽しみながら、生活に必要な情報を知ることができたり、まちの人たちと交流することができる教室をつくります。

これから何をするの？

日本語の勉強ができる体制をつくります

・日本語教室を開いたり、教室を続けることができるように、取組をすすめます。

→日本語教育のセミナーや研修会を開いて、日本語を教えることができる人を増やします。

・日本語教室に行くことができない人のために、ICTを使った学習機会を提供できるようにします。

さいごに

北海道の地域日本語教育についてわかりましたか？

外国人のみなさんが、日本語を勉強できて、まちの仲間として、一緒に生活し、活躍するために、必要なことがあれば、どうぞ、意見をおくってください。

みなさんの意見はこちら↓から

https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=lyZtpJjE